

会報りゅうへ

第 21号

令和 2年 1月号

(編集・発行) 公益社団法人 龍ヶ崎市シルバー人材センター
〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町3202番地
TEL 0297(64)3641 FAX 0297(63)0011
ホームページ : <http://www.rsjc.sakura.ne.jp/>
発行責任者 : 塚本 将男 編集 : 総務委員会



佐貫駅前広場の花植えボランティアに37名の方が参加 (関連記事3ページ)

新年のごあいさつ

理事長 塚本 将 男

元号改元から2年目となる年明けを迎え、会員の皆様にはお健やかに初春をお迎えることとお慶び申し上げます。

昨年4月から始まりました5カ年の新中長期計画ですが、開始から9カ月と、陸上のトラック競技に例えるとスタート直後の助走段階ですが、順調な滑り出しができています。上部団体が掲げる「第2次会員100万人達成計画」に対しても、県内の多くのセンターが会員を減少させ、苦戦を強いられる中、会員増員数では県内ベスト3に入る実績となっています。新たに始めた女性会員限定や休日開催の入会説明会の開催など、新中長期計画に伴う新たな取り組みが奏功しているものと考えています。

また、事業実績に関しても、これまでのところは概ね順調に推移しており、拡大基調が続いています。強化を図ってきた派遣事業も同様に順調に拡大しています。

これも偏に会員の皆様方、理事初め各委員会委員の方々の努力の賜物と感謝を申し上げます。

しかしながら、課題が無いわけではありません。会員の現状の就業状況に対して、指導も受けており、その改善に向け、組織としての難しいかじ取りが求められています。この件に就きましては、理事会や委員会を中心に、改善に向けた方策の検討を早急に行いたいと考えています。

これからも市民の方々から寄せられる期待とその責務に応えるべく、今まで以上に会員の皆様と力を合わせながら、地域の人々から頼りにされるシルバー人材センターを目指すべく努力する決意をし、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ 龍ヶ崎市長 中山 一生

西暦2020年、令和二年の新しい年を迎えました。新しい御代になって最初の記念すべき年明けを、皆様とともに迎えられること、心からうれしく思っています。

日ごろから、市民の皆さんに愛されるシルバー人材センターとして、地域に根差した積極的な活動を展開されている皆様に心からの敬意を表します。

また、シルバー人材センター会員の皆様には、都市公園の清掃美化や、森林公園の管理事業をはじめ、市政運営に大きなお力をいただいています。本年から、佐貫駅東駐輪場に加え、佐貫中央第1・第2駐輪場においても指定管理者を担っていただいています。

さらには、介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）においても、多くのシルバー会員の方が生活支援員となり、高齢者介護にご活躍いただくなど、そのご活躍に市民を代表して感謝を申し上げます。

長寿社会が進展する一方で、少子化と働き手不足が年々深刻化する時代ともなり、ますますシルバー人材センターの社会的な期待が高まっています。シルバー世代が、生きがいを持って社会に参画し、「健幸」を実感しながらご活躍いただくことで、「長寿社会」に相応した活力あるまちづくりを推進していくためにも、これからもシルバー人材センター事業を積極的に支援してまいります。

龍ヶ崎市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭にあたりましての挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



◆ 普及啓発のためのPR活動を実施



普及啓発月間である10月は、全国のシルバー人材センターが、広く市民の方々にシルバーの活動を知っていただき、ご利用を促進する目的で、一斉にPR活動を行っています。今年、当センターでは、たつこのモールとサブラで、PR活動を行いました。1日に実施のたつこのモールでのPR活動には、(公社)茨城県シルバー人材センター連合会からも3名の職員の方が参加され、総勢20名での実施となりました。また、18日にはサブラ入口でPR活動を実施し、13名の方が参加され、チラシ等の配布と呼びかけを行いました。

◆ 行政への支援要請活動

～ 龍ヶ崎市長、市議会議員、県議会議員への支援要請を実施 ～

8月29日に、塚本理事長、宮本副理事長、大塚理事、鈴木理事と事務局職員を合わせて6名で龍ヶ崎市役所を訪れ、中山市長、鴻巣市議会議員、萩原県議会議員、坂本県議会議員に対して、シルバー人材センター事業に対する支援要請文を手渡しました。

この支援要請は、国が掲げる「ニッポン一億総活躍プラン」にある高齢人材の活用、その一環として高齢者の就業を推進する目的で、行政への更なる理解と一層の協力を得るために、毎年全国のシルバー人材センターで展開されているものです。

～ おもな活動内容 ～

- 7月 RSJCゴルフ会：第28回コンペ
RSJCシルバーウォーキング会
安全・適正就業推進大会（県シ連主催）
女性会員交流会
第3回総務委員会
- 8月 第2回理事会
行政への要望書提出
ワークシェアリング閲覧
- 9月 役職員研修会（県シ連主催）
安全就業対策講習会（県シ連主催）
派遣接遇講習会（県シ連主催）
介護・生活支援補助スタッフ講習会（県シ連主催）
- 10月 県下一斉PR活動（たつこのまちモール）
キャリアアップ運転講習会（県シ連主催）
サブラ入口でのPR活動
第3回安全委員会
第3回女性活躍推進委員会
ボランティア活動：佐貫駅前広場花植え
- 11月 RSJCゴルフ会：第29回コンペ
中間業務監査
RSJCシルバーウォーキング会
いがっぺ市PR活動
店舗業務補助スタッフ講習会（県シ連主催）
- 12月 第3回理事会

(注)県シ連：茨城県シルバー人材センター連合会

『草取り作業』の就業会員を募集！

毎年、多くのご注文をいただく『草取り』作業ですが、その注文に対して就業会員が不足しています。

就業を希望される方は事務局までご連絡下さい。経験が無くても、先輩会員が丁寧に指導してくれます。

この他にも、『剪定』『草刈り』『障子・襖張替え』作業を希望する会員も随時募集中です。

◆ 会員のお仕事あれこれ



(剪定作業中の海老原会員)

63才で前職をリタイア後、次の人生目標を「アイアンマンレース(*)」で年代別の表彰台へ上ることに設定し、トレーニングを重ねていましたが、相次ぐ怪我で予選レースにも出場できない日々を過ごしていました。40才、50才と2度の出場完走を果たしていましたが、自身が思っていた以上に体が悲鳴を上げる状態で、これ以上の無理は出来ないと悟り、トライアスロン協会の裏方に徹することを決めました。ただ、体を動かすことが好きな自分にとって、何か他にすることが無いか考えていたところ、龍ヶ崎市の広報誌でシルバーの剪定作業を知り、会員になって剪定の仕事をしてみようと思い、入会しました。

しかしながら、仕事を始めてみて、先輩会員のプロ意識を持って作業をしている姿や技量を目の当たりにし、初めて自分の考えの甘さ、技量の未熟さを知ることとなりました。ただ、技量未熟な私に対しても先輩会員の皆さんは親切丁寧に指導をしていただき、最近では少しずつですが松の剪定も任されるようになり、以前にも増して張り切って作業をさせていただいております。お客様から「きれいになった。有難う。」と労いの言葉をいただいた時は、達成感で一杯となり、この仕事をしていて良かったと感慨に浸っております。

人生100年時代、これからも気力・体力が続く限り、剪定の仕事を続けていくつもりです。

(会員 海老原 寛)

*水泳・自転車ロードレース・長距離走の3種目を連続して行う耐久競技で、世界で一番過酷なレースと云われています

◆ 令和元年度第1回ワークシェアリングを実施

令和元年度第1回ワークシェアリングが、8月29日～9月4日の期間で開催されました。今回のワークシェアリングでは、令和元年10月～令和2年3月までの就業に対して行われました。平成28年度から就業を希望される方は、必ず参加していただくことになっており、現在就業中の方も継続の意思確認も含めて、参加いただくことになっています。

現在、当センターの就業率は、平成30年度で82.9%となっており、茨城県内のシルバー人材センター平均の76.1%を上回り、県内でも上位にあります。これからも就業希望の方には、全員の方に仕事をしていただくことを目指しています。当センターでは、ワークシェアリングとは別に、就業を希望される方への就業相談を随時行っていますので、就業を希望され、未就業の方は、お気軽にセンターにお越しください。

次回のワークシェアリングは令和2年1月30日～2月5日の開催となります。令和2年4月～9月の就業を希望される方は必ず参加して下さい。(会報と一緒に同封されている通知案内を参照してください)



◆ JR佐貫駅東口駅前広場の花植えボランティアを実施

10月28日、雲ひとつない秋晴れの中、会員、職員合わせて37名で、毎年恒例となったJR佐貫駅前にある花壇3カ所への花植えボランティアを実施しました。最初に全員が集まったところで、塚本理事長から挨拶があり、そのあと全員で記念撮影をした後、作業に取り掛かりました。



まずは花壇の土おこしを念入りに行い、土中に残った根やゴミを取り除くことから始めました。その後、パンジーの苗を均等に配置し、植え込んでいきました。作業開始から約2時間、花壇が黄色いパンジーで彩られ、駅前広場が町の玄関口に相応しい華やかな雰囲気となりました。

シルバーが地域に貢献していることを実感できる場面でもあり、これからも積極的に地域貢献していきたいと思いました (会員 栗山 一)

◆ 地域班だより



平成29年度よりモデル5地域で開始した地域班ですが、本年度は市内全域に拡大し、合計16班を設置しました。地域班活動は、班長を中心にそれぞれの地域のコミュニティーセンター等で開催され、地域班会議や交流会を開催し、会員の増強や就業拡大、地域ボランティア等についての理解を深めていただき、時には協力をいただきながら行っています。日常の就業以外で地域内の会員同士が交流を図り、親睦を深めることができる唯一の機会となっています。

今後、各地域で交流会等が開催される際はお気軽にご参加ください。
(総務委員会)

◆ 第3回 女性交流会

令和元年7月24日、駒馬台コミュニティセンターにおいて、第3回女性交流会が開催されました。当日は女性会員10名、女性活躍推進委員会から4名の委員、事務局2名の合計16名が参加しました。

今回は「浴衣の着付けと盆踊り」という企画で、講師に日本舞踊花柳の花柳先生をお招きし、交流会を行いました。

最近では浴衣を着る機会も少なくなり、皆さん、久しぶりの浴衣で、昔の思い出話や可愛く形作られた蝶結びの帯に笑顔が絶えない交流会となりました。

浴衣の着付けが終わった後、盆踊りに移り、講師の方から手の動きや足運びの基本動作を教わった後、全員で音楽に合わせて、盆踊りを踊り、交流会を終えました。



(会員 石川すみ子)

◆ RSJCシルバーウォーキング会

今年度より、会員の自主的活動の一つとなったウォーキング会ですが、11月までに5回実施され、市内の各地を健幸ウォーキングしました。多くの会員のウォーキング会への参加をお待ちしています。



◆ RSJCゴルフ会

秋晴れの11月7日、第29回ゴルフ会が土浦カントリー倶楽部で開催され、14名の方が参加、藤本重一会員が初優勝をされました。おめでとうございます。



優勝された藤本重一会員(中央)

会員の状況

単位:人

地区名	男性	女性	計
龍ヶ崎	54	23	77
大宮	28	9	37
長戸	10	12	22
八原	51	21	72
馴染	71	21	92
川原代	32	19	51
北文間	15	8	23
北竜台	90	28	118
合計	351	141	492

令和元年12月6日現在

事務局からのお知らせ

配分金に関わる確定申告について

シルバー人材センターで得た配分金収入（シルバー派遣は除く）は、所得税法上では雑所得となり所得税の対象となります。総収入金額から一定の必要経費を控除した額が所得額となります。必要な方は、**事前にセンターへ電話連絡の上**、お越し下さい。令和元年分の「配分金支払証明書」を発行します。

会報りゅうへのデザインと内容を刷新しました。これまでセンターの活動情報を中心とした記事構成でしたが、今回は会員の方にも参加いただき、会員とともに紙面を作り上げていきます。お仕事・趣味・ふるさと自慢・旅行の思い出など、皆様からの情報・寄稿をお待ちしています。